

★本記事の読み上げ動画を作成しました！

忙しく記事を読む時間がない方でも、耳を傾けていただくだけで内容を把握することができるよう、本記事を読み上げた動画を作成しました。移動時間やスキマ時間などにぜひご活用ください！
動画はこちら▶<https://youtu.be/B-eVN1c4avM>



連載

★学校運動部活動と連携するクラブ★

NPO法人 スポーツクラブ21はりま 兵庫県加古郡播磨町

学校運動部活動を巡っては、少子化による生徒の減少、それに伴う教員数の減少、専門的指導力を持つ教員の不足等により、生徒のニーズに応じた部活動自体が成り立たなくなる現状があります。

文部科学省では、令和5年から令和7年までを「改革推進期間」と位置づけ、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現をめざすよう各自自治体求めており、総合型クラブにおいても学校運動部活動との連携が期待されています。

そこで今回は、学校運動部活動と連携するクラブの取り組みを紹介します。

1

クラブ概要

新しい生涯学習社会の構築に寄与することをめざして

兵庫県教育委員会「ゴールドプラン21」事業が発表され、小学校区にそれぞれ総合型クラブが設立されてから早24年が経過しました。その後、当クラブは「持続可能な総合型クラブ」をめざし、平成16年度に法人格を取得、「NPO法人スポーツクラブ21はりま」となりました。

「世代間を超え、いつでも、どこでも、誰もがができるスポーツ活動を通じ、健康づくり、コミュニティづくり、健やかな人づくりをめざし、明るく心豊かなまちづくりを進める」が当クラブの理念です。

「する、みる、ささえる」スポーツへの参画を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するために、幼児期からのスポーツ環境を整え、中学校における部活動の地域展開をめざし、新しい生涯学習社会の構築に寄与します。

●会員数

未就学児	小学生	中学生	高校生	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	合計
47	911	356	99	246	256	296	327	193	452	3,183

●会費

入会金:1,000円

年会費:子ども 1,500円 大人 2,000円

●2023年度プログラム

- ・はりま陸上クラブ※
- ・SC21はりまサッカークラブ※
- ・はりまキッズ体操※
- ・SC21はりまミニバスケットボールクラブ※
- ・はりまスナッグゴルフクラブ※
- ・トップランテニススクール
- ・ストレッチ&体幹ヨガ
- ・健康太極拳教室
- ・バドミントンスクール
- ・個人フットサル
- ・コミセンぐるり
- ・筋太郎体操教室
- ・中村堂少年軟式野球教室
- ・ベビー親子体操
- ・ヴィッセル神戸サッカースクール

※クラブの職員が指導者として指導を行うクラブ。その他は外部指導者によるスポーツスクール。

●子どもいきいきスポーツ教室

小学生を対象に、土日を有効に過ごすための健全育成支援とスポーツに触れる機会づくりを目的に実施。

年間5期 1期1～5回程度 会費1期500円(会員)程度で実施しています。

【実施教室】

サイクリング、サマーキャンプ、手芸、バドミントン、サッカー、スナッグゴルフ、陸上競技、軟式野球、軟式テニス、ミニバスケットボール、バレーボール、クォーターテニス、モルック、ダーツ、スラックライン、スキー

●指定管理施設

播磨町総合体育館、新島球場、浜田球場、浜田テニスコート、望海公園球場、はりまシーサイドドーム、秋ヶ池運動場、うみえーる広場

●理事、職員、スタッフ

理事:15名、職員:7名、アルバイト:24名

2

令和6年度に向かって これまでクラブが取り組んできた道筋

今後は中学校部活動の地域移行の受け皿としての役割を推進

播磨町から中学校の部活動連携についての方針が示された段階で、教育委員会からその受け皿としてクラブに依頼がありました。そして、令和5年度から徐々に事業が進められてきましたが、令和6年度からは正式に委託されることとなりました。現在、クラブに完全移行したのは剣道とハンドボールの2種目で、部員はクラブに会費を支払い、保険はクラブが加入して活動しています。

地域移行の運営に必要な財源、指導者の確保、活動施設、指導者研修会などの詳細については下記の通りです。

1. 播磨町における令和4年度までの取り組み

- 部活動指導員配置事業 令和2年度
- 運動部活動推進事業(スポーツ庁委託事業) 令和3年度
- 地域移行意見交換会の実施 令和4年度2回実施
委員メンバーは、町教育委員会・中学校校長・部顧問・地域指導者・クラブ職員等 計20名
- 令和4年度播磨町部活動地域移行アンケート調査 令和4年12月
<https://www.town.harima.lg.jp/gakkokyoiku/kyoiku/documents/chiikibukatudou.pdf>
- 播磨町学校部活動の地域クラブへの移行ガイドラインの策定 令和5年3月
<https://www.town.harima.lg.jp/gakkokyoiku/kyoiku/documents/gaidorain.pdf>

2. 播磨町の部活動の現状

●新たなクラブ活動

剣道:学校部活動から完全移行

剣道部顧問が不在となることから廃部が決定していましたが、活動継続のために地域の指導者へ地域クラブとして設立を依頼し、地域移行が実現したものです。現在は、中学校教諭も兼職兼業制度を活用し、地域指導者として指導を行っています。

ハンドボール:小学生クラブから新規創設

小学生ハンドボールクラブの子どもたちから、中学生になっても活動を継続したいとの要望がありました。そこで、小学校教諭が兼職兼業制度を活用し、地域指導員として指導にあたり、地域クラブ設立となったものです。

卓球:休日部活動の地域移行

卓球部は、当初より、既存の部活動に地域指導者が入り活動を行っており、休日部活動の完全移行と同時に教員の指導者も兼職兼業制度を利用し、地域指導者として継続して指導を行っています。

文科系クラブ:新規創設

地域で活動する団体等により、地域クラブとしてボランティア部・理科クラブ・美術部が創設されました。

また、令和6年度より茶道部と華道部のスタートをめざしています。地域で教室を実施されている各先生との打ち合わせ会を実施し、実施会場や必要備品等についてのヒアリングを行いました。

●学校部活動へ地域指導者派遣実施

以下の既存部活動には、外部指導者を派遣しています。指導者派遣は土日だけに限らず、平日に活動可能な指導者がいる場合は、平日にも派遣しています。

また、派遣している指導者は、地域の大学生や主婦の方々が地域指導者として登録しているタイプと、教職員が兼職兼業制度を利用して、休日の活動を地域指導者として活動しているタイプがあります。

サッカー部、ソフトテニス部、バレーボール部、軟式野球部、陸上競技部、バスケットボール部

●指導者研修会 令和5年度4回実施予定

子どもたちに質の高い技術指導や、安全・安心な活動等を提供できるよう、各部門の専門家(大学教授等)による研修会を開催しています。

対象: NPO法人スポーツクラブ21はりま登録団体指導者・部活指導員

内容: スポーツガバナンス、コンプライアンス、ハラスメント防止

トレーニング理論、スポーツ医・科学理論

播磨町における中学部活動について 等

No.	日時	研修内容・講演テーマ	講師
1	8月5日(土) 19:00～	①部活動は不思議なもの ②中学部活動の地域移行について	① 高見 嘉彦 (播磨町教育委員会地域部活動コーディネーター) ② 吉野 雅文 (NPO法人スポーツクラブ21はりま事務局長)
2	9月9日(土) 15:30～	①I play tennis/the guitar.を改めて考える ～日本人のスポーツ教育観、さらには中学生 に対する教育をどう捉えるべきか～ ②トレーニング理論について	①森田 啓之 (兵庫教育大学大学院 教授) ②西尾 和典 (兵庫大学 非常勤講師)
3	11月18日(土) 13:00～	①スポーツにおける児童・生徒との関わり ②指導者はなぜ暴力的に振る舞うのか	①伊藤 克広 (兵庫県立大学国際商経学部 教授) ②森田 啓之 (兵庫教育大学大学院 教授)
4	3月3日(日) 10:00～	①班別討議型研修	伊藤 克広 (兵庫県立大学国際商経学部 教授) 森田 啓之 (兵庫教育大学大学院 教授)

3. 財源について

播磨町と当クラブにおいて、令和5年度中学校部活動地域移行推進事業の業務委託契約を締結しています。

委託費:7,607,000円

内訳:報償費5,241,600円、旅費760,720円、需用費603,995円、役務費309,140円、一般管理費691,545円

4. 指導者の確保について

まずは、教職員の協力が第一と考えており、兼職兼業制度を利用した地域指導者の登録を推進しています(現状:小学校教諭1名、中学校教諭2名)。また、地域で活動を実施している指導者や大学生、保護者等への声掛けを行い、指導者を発掘しています。地域指導者への登録を希望していた方は、教育委員会との面接の上、採用を決定します。

令和5年度は、1時間あたりの謝金を1,200円とし、1種目あたり1日2名までを限度としています。また、平日2時間、土日3時間、大会時は6時間を1日の活動時間の限度としています。

5. 活動場所について

現在、部活動における利用施設は学校施設のみです。なお、播磨町スポーツ施設および学校開放事業による施設調整は、当クラブにおいて、一般利用との調整を一括して実施しています。

6. 連携している団体について

- 播磨町サッカー協会をはじめ、播磨町スポーツ協会所属の競技団体(種目協会)と連携し、今後の方針などについて協議を行っています。
- 播磨町総合スポーツ施設を利用している登録団体、青少年育成団体には、クラブ主催事業であるスポーツ大会(SC21はりま杯)の運営を実施していただいています。また、クラブが主催または主管する大会やイベントの際に、ボランティアとしても参加いただいています。
例)播磨町ロードレース大会(登録団体スポーツボランティア約180名)
- 今後、播磨町が連携協定を締結している大学との連携について協議していく予定です。
今後予定されているのは、中学校の部活動地域移行に関する調査研究、当クラブへの学生派遣、教室、イベント開催時におけるエビデンスの蓄積とデータ検証等による研究、クラブマネジメント人材育成のための実施体験等です。

3

取り組みの課題とその解決策…

問題・課題解決のために重要な役割を担う
地域部活動コーディネーター

取り組みに関する課題としては、部活動の地域移行について教職員の理解が得られないことや、指導者の登用の際の責任問題、研修制度や資格制度の構築、指導者の活動実績の把握と謝金支払い等の事務作業負担などがあります。

また、種目数が少ないため部員が1種目に集中してしまい、十分なプレーが行えないことがあり、新規クラブの創設が大きな課題となっています。

新規クラブの創設にあたっては、行政が実施したアンケート結果からバドミントンクラブの創設意向が強いことがわかり、バドミントン1DAYスクールを開催しました(参加者:小学5~6年、中学1年生、約20名)。実施後アンケートでもクラブ設立の要望が強く、今後創設をめざしていきます。

大きな問題点や変更点などについては、毎月実施している行政とのミーティングでその都度話し合うことが問題解決への早道です。

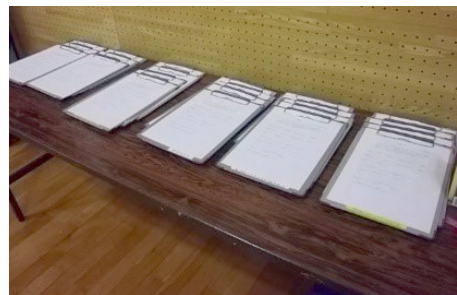
多岐にわたって出てくる問題・課題に対しては、迅速に地域部活動コーディネーターと情報共有し、学校現場との調整を行っています。教育委員会、学校、総合型クラブが連携し取り組みを進めているなかで、今年度教育委員会により配置された地域部活動コーディネーターの役割がとても大切であることがわかりました。コーディネーターは元学校長であり、学校の実情の把握や教職員とのつながりもあることから問題点の引き出しや調整に寄与しています。



兵庫県スポーツ協会主催の次世代のクラブマネジメント人材育成プロジェクト実習生による企画。めざすはバドミントンクラブの設立



バドミントンスクールの状況



バドミントンスクールアンケート

4

中学部活動の地域移行は 生涯教育の入り口としての重責を担う

平日部活動の地域移行も目標に掲げて活動

部活動の地域移行をきっかけとして、スポーツのみならず文化活動にも対応できるよう文化協会等の団体との連携を進めなければなりません。現在、文化関係の受け皿となっている施設を指定管理者として受けているNPO法人ニュー☆ハリマとも今後、綿密な連携が必要となります。

また、事業規模が大きくなるにつれ、事務局員の負担の増加があり、新しい人員の確保と人材育成が大きな課題となっています。そこで、部活動の地域移行(展開)の取り組みの一つとして、大学との連携が進められています。播磨町が兵庫大学、流通科学大学と連携協定を締結しており、次年度より流通科学大学より学生派遣が実施される予定です。

部活動地域移行(地域展開)の計画案としては、休日部活動は令和7年度までに完全移行し、平日部活動も令和10年までに完全移行をめざしています。そしてこれからは、平成18年より行ってきた播磨町スポーツ施設の管理業務を継続することはもとより、当クラブのさらなる機能充実により、新しい生涯教育を担う組織体の再構築が強く求められています。当クラブは、社会教育の受け皿としての重責を担っていますが、文部科学省が推し進める「中学部活動の地域移行」は、播磨町のこれからの生涯教育の再構築の入り口であると認識しています。そこで、中学部活動の地域展開を皮切りとして、施設管理のさらなる充実と生涯スポーツ社会や共生社会の実現のための各種事業を提案し展開していきたいと考えています。

NPO法人スポーツクラブ21はりま 事務局長 吉野雅文

クラブプロフィール

設立年月日 平成12年10月24日(平成16年11月29日 法人登記)

所在地 兵庫県加古郡播磨町本荘70-1

運営 会員数:3,183名(令和5年3月現在)、予算規模:1億1千万円(令和5年度)

特徴 「世代間を超え、いつでも、誰もができるスポーツ活動を通じ、健康づくり、コミュニティづくり、健やかな人づくりをめざし、明るく心豊かなまちづくりを進める」を基本理念として活動を行っています

連絡先 〒675-0154 住所:兵庫県加古郡播磨町本荘70-1
TEL:079-437-2201 FAX:079-437-3382
HP:<https://www.sc21-harima.com/>
E-mail:info@sc21-harima.com